

理事会議事録



テーマ	大阪協会 令和元年12月理事会
日時	令和元年12月18日(水曜日) 19:00～21:00
場所	大阪産業創造館 6階会議室
出席者	参加30クラブ (欠席 0クラブ)
資料	

議 事 内 容
<p>■協会長挨拶</p> <p>●みなさんこんばんは、12月も残すところ数日となり、新元号となった令和元年が終わろうとしています。今年1年色々ご協力をいただき、大変ありがとうございました。大きな事故もなく、全ての行事が終えたことに感謝しています。来年も、事故のない楽しい1年になれば良いと願っています。</p> <p>今年は、猪年ということでしたが、年末に関東方面では猪が街中で大暴れしていると聞きました。我々の街では猪の被害等は聞きませんが、山間部では猪が出るようですので、もし猪に遭遇するようなことがあれば、急に逃げるような行動をしないよう、十分に注意していただきたいと思います。</p> <p>■連盟拡大常任委員会報告 (池田 協会長)</p> <p>●連盟55周年記念祝賀会について</p> <p>令和2年1月26日新大阪ワシントンホテルプラザにて、総会と祝賀会が開催されます。総会受付が午前10時、総会は11時から12時30分の予定です。祝賀会については、受付が13時から行われますので、大阪協会の役員さんは受付の協力をおねがいします。祝賀会は13時40分から16時までを予定しています。来賓の方が揃い次第、祝辞、乾杯を行います。アトラクションとして、和太鼓の演奏、50周年以降の会報を主体としたDVDの放映(約15分)が行われます。最後には抽選会なども行われますので、是非祝賀会への参加をおねがいします。記念誌については、過日皆さんにおねがいをし、親子3代に渡る会員、また親子合わせて55年の在籍者ですが、大阪協会では該当者はいらっしゃいませんでした。締切が来年の3月10日となっていますので、該当の方がおられれば、連絡をおねがいします。</p> <p>●55周年記念釣大会について</p> <p>令和2年の連盟会議において、大会要項、参加申し込み方法、審査会場責任者の作業要領等が順次配布されます。現在、大会担当委員により審査会場の一覧を作成されており、11月25日時点で、24協会から34会場の申請があります。まだ会場の追加は可能ですので、大阪協会追加会場の申請がありましたら、早急に事務局の方へ連絡をおねがいします。</p> <p>●第111回全日本カレイ投げ釣り選手権大会について</p> <p>結果報告に続き、ラッキー賞の抽選が行われました。例年大阪協会は多くの方が当選するのですが、今年は少なかったようです。参加申し込みは、24協会167クラブ。参加者は、1102名(少・女20名)で、入賞は本賞176位、他魚44位で、盾表彰は本賞27位、他魚5位となっています。優勝者は宮城協会の伊東さんで、イシガレイ52.9cmでした。他魚の優勝は、島根協会の斎藤さんで、ヒラメ69.2cmでS</p>

割ポイント 1.153 でした。

●各協会提出議案について

大分協会 ①全キス、全カレイ大会の受付けを無しにする。

②全キスの審査時刻を AM11:00~AM11:30 への変更。

③全カレイの審査時刻を PM15:00~PM15:30 への変更

回答 ①来年の 55 周年記念大会を受付け無しで開催するので、その結果をみて検討する。

②・③は 2018 年に同様の提案があり、審議の結果現状どおりとなり廃案となった経緯があり、特に審議はなし。

広島協会 ①キャスティングの発音体（ビーバー）改善の要望。

回答 メーカーに問い合わせた処、暫定的に固定部とキャップ部分を接着剤にて補強をするという回答が得られた。また、メーカーよりこの部門から撤退したい申し出があり、現時点の SC 部在庫（約 400 個）が無くなるまで（約 1 年~1 年半）に対処方法を検討する。

兵庫協会 ①オオニベ、ヒラメの S ランク基準寸法をマダイと同様の 70cm にする。また、ハタ（マハタ）の S ランク基準寸法をフエフキ・コブダイと同様の 75cm に変更する。

②全日本対象魚にフエダイ 2 種を追加する。

回答 ①最低基準寸法の S ランク割で大物を変更するには、余りにも作業が煩雑すぎるので、全キス、全カレイの大会での S ランク寸法を変更した方が良いと思われる。

②昨年も兵庫協会よりイソバラで同様の提案があり、種類が多すぎる、また 35cm 以上の申請についても現実的でないと理由で見送られた。また、フエダイ、モンツキダイの申請数も少なく、分類が難しいので 2006 年 1 月に削除した。その際に、シロダイとメイチダイも一緒だったが、残しておくことになった。

大阪協会 ①新規加入者の大物申請の期日について、日本記録や協会記録を釣ってから入会の希望があった場合の対処について、明確にしていきたい。

回答 ①毎年の連盟への登録は 2 月末となっているが、それまでに新規入会されている方は、1 月 1 日を入会日としている。従って、2 月末に新規登録される方の入会日は、1 月 1 日と記載していきたい。

本部事故防止部 ①事故防止規定の安全心得 5 と 6 を統合し、連盟主催大会で渡船を利用する際は、遊漁船登録を行っている正規の渡船を利用し、ゴムボート等での渡礁は禁止する。また、救命具は渡船利用以外であっても全員着用すること。砂浜に於いても着用することが望ましい。と改正したい。

回答 ①連盟主催の大会では、原案どおりとする。他の大会については、各協会でも協議していきたい。

●クリーンアップ実施計画について

今季協会の環境部長の交代は愛知協会のみでした。活動状況は、参加 164 クラブ（参加率 88%）延べ参加者は 1154 名でした。

●会計部報告

本部会計報告書（中間）が配布され、前期繰越金 11,969,163 円で始まり、次期繰越金 13,666,810 円で少し増となっていますが、全カレイの参加費、大物記念事業費 250 万円が含まれており、その分を差

し引くと、約 100 万円程前期繰越金を取り崩す事になる見込みです。本年当初の収支では 50 万円程の赤字を予想していたが、少し増える見込みです。記念行事に本部会計から 250 万円程支出することになるので、次期繰越金は 1000 万円を切る事になる見込みです。会員の減少、広告収入の域でマイナス要因が多くあり、何らかの対策が必要と思われます。

●キャスト部より

SC 用品の販売価格に関し、10 月より消費税が 10%となりました。当面は値上げしなくても対応できますが、将来的に値上げが避けられない状況になれば、理解を宜しくおねがいします。

●大物部より

2019 年度（2018 年 12 月 11 日～2019 年 12 月 10 日）の申請釣魚をまとめていただき、大物部まで提出願います。

●資材部より

全日本ステッカー（赤・青共）の在庫が無くなり、メーカーに発注は行っていますが値上がりしており、来年度より 5 枚セットで 500 円に改定します。また、資材注文方法を変更し、FAX は蔦部長、メールは高田さんに申請してください。

●事故防止部より

事故防止講習会報告一覧表が配布され、計画総数 24 協会、165 クラブ、644 名に対し、実施実績は 100%でした。また、2 協会で部長交代がありました。

●企画部より

今季のキス段位制では、段位 5 名、級位 24 名の申請がありました。12 月 20 日まで申請を受け付けていますので、申請される方は急いで申請ねがいます。

●事務局より

2020 年度会員登録について、すでに説明書は配布しています。仕様は昨年度と殆んど変更ありませんが、過去の会員番号は絶対に再使用しないようおねがいします。

■全日本カレイ 副賞・ラッキー賞 の配布

●全日本カレイ入賞者への副賞およびラッキー賞 の賞品が配布された。

■第 9 回 大物名人戦結果報告 （湯浅 大物部長）

●11 月 23 日に開催しました。釣果については、非常に多種多様の大物が釣れていました。マダイの S ランク越えが 2 匹。また、ニベの D ランク、スズキ、マゴチ、カワハギ、コロダイ、インダイ等が釣れ、これまでの大会の中でも、非常に良い魚が多数釣れた大会となりました。来年の第 10 回大会は、釣場の変更を行いたいと思っており、今後、日程等を含め協議を行って行きたいと思っています。参加賞ですが、これまでは T シャツやポロシャツを選定していましたが、今回は釣り場で使う小物入れにしました。ネームステッカーについては、通常は第 9 回と印刷されていますが、上位 3 名の方は、優勝、準優勝、3 位と印字されています。成績は、優勝 片岡洋次朗さん 1.865P、準優勝 廣田安信さん 1.664P、3 位 井口芳之さん 1.633P でした。おめでとうございます。

■大阪・兵庫合同納竿大会結果報告 （上野 事務局長）

●12 月 8 日に開催されました。比較的天候は良かったのですが、西浦では風が強かったようです。参加総数が大阪 132 名、兵庫 101 名の合計 233 名でした。成績表は協会 HP にアップしていますので参照をおねがいします。来年は大阪協会が PJ となりますので、要項等を協議してゆきたいと思ひます。

■令和2年度協会行事日程について (上野 事務局長)

●来年度の案については既に配布させて頂いています。記載の連盟行事については既に決定していますので変更はできません。大阪協会の行事について、事務局で今年の行事日程を参考に作成した(案)について協議を行った。

■初釣り大会について (上野 事務局長)

●要項については、本年と同様となっていますが、参加費が1500円となっています。審査場所は、今年と同様の「海とのふれあい広場」です。参加申し込みは、新年総会でおねがいします。

■会員登録について (上野 事務局長)

●今月末くらいに会員登録案内を発送する予定です。新年総会にて申し込みを宜しくおねがいします。今年1月に会費値上げについての話をしましたが、値上げ額については議論していませんでした。この場で来年度の会費について協議をおねがいします。

●今年度の新年総会にて、協会の赤字解消に向けて年末に皆さんと会費値上げの協議をしたいとご挨拶申し上げました。値上げの額までは決まっていますが、今年度は約35万円の赤字が予測されます。原因は、広告収入等の減少や消費税の値上げがあると考えられます。会費値上げは避けたいとの思いでしたが、ここまで赤字が増えると、相談することが必要と思いました。皆さんの意見を聞いて協議したいと思えます。来年度の登録会員も減少するかもしれませんが、単純に30万円の赤字を解消するとなれば、会員1人あたり1000円増という数字となります。節約方法も考えているのですが、現行は難しいと思われれます。主な支出を考えると、毎月の会議場費、レンタル倉庫費などが節約策かと思われれますが、他の場所を探してもほぼ同様の費用となります。他協会では、会員個人の場所(土地)をお借りして資材等の管理を行っていると聞いていますが、大阪ではそういった場所が無く、倉庫を借りることとなっています。1000円の値上げを行えば、単純に30万円の増となりますが、それでも赤字を補うことはできません。また、本年の登録会員数は300名でしたが、来年の登録者は300名を割ると思われれます。更に、「あげしお」の広告費について、(株)シマノが撤退した事も影響しています。とりあえず、来年度は1000円の値上げで取り組もうと思いますが、如何でしょうか? 《拍手》

ありがとうございます。申し訳ありませんが、来年度の会費は1名4000円(少・女3000円)とさせていただきます。なお、半期の方についても、1名3000円(少・女2500円)とさせていただきます。

●来年度登録クラブについて(会員5名以下のクラブ)

門真サーフ、東住吉サーフ、高石サーフの3クラブについて来年度の登録を行わない意向である旨が伝えられた。

●来年度役員交代について

資材担当の黒潮サーフ養老氏が都合により退任、なにわキャストズの裏野氏が資材担当をすることになり紹介された。

以上